

国立大学のプログラムで、ホテルでの 有給インターンシップを経験できました。

留学先：Southern Cross University（オーストラリア）
公立高等学校卒業 Y.B.さん

2016年3月 高校卒業
2016年4月 Southern Cross University 付属語学コース入学
2016年7月 Southern Cross University 入学
（Diploma of Business 専攻）
2017年7月 専攻を Bachelor of Business in Hotel Management に変更
2019年7月 Southern Cross University 卒業
現在は国内の5つ星ホテルのフロントで勤務中



海外の大学に留学しようと思ったきっかけは？

元々小学生の頃からホテルで働くことが夢でした。大学ではホテルに就職するための知識を増やすこと、英語力を向上させること、この二つを集中して学びたいと考えていました。

国内の大学を探しましたが上記二つを同時に伸ばせる大学が見つからず、どうしようと思っていた時、母から「海外の大学でホテルの勉強をしたら、英語力も一緒に伸ばせるのでは？」との助言があり、海外の大学を視野に入れるようになりました。

留学に向けて、どんな準備をしましたか？

目指す大学に入学するには IELTS というテストで規定以上の点数を獲得することが条件でした。同級生たちが国内大学向けの小論文やセンター試験の勉強をしている中、私は学校の英語の先生や留学エージェントの先生と毎日のようにスピーキングやライティングの練習をしていました。

大学付属の語学コースで何を学ぶか教えて下さい。

10週間程度のプログラムだったと記憶しているのですが、大学入学後の授業の受け方や課題の進め方を教えてもらいました。

授業のシステムが日本で受けていた教育と全く違ったので、このプログラムに参加していなかったら、大学の授業に慣れるのがもっと難しくなっていたと思います。

語学コースなので外国人の生徒しかおらず、皆同じような不安を抱えていたのですがすぐに仲良くなりました。その後は別々の学部に進みましたが、たまに集まって一緒にランチを食べました。

サザン クロス大学を選んだ理由は？

ザ ホテル スクール（ホテルに特化した国立大学）の Bachelor of Business in Hotel Management に進むための良いステップだったからです。半年間の有給インターシップのカリキュラムがあり、サザン クロス大学が提携しています。これが理由で進学を決めました。

1 年目からザ ホテル スクールに通うこともできますが、サザン クロス大学を経た方が入学時に求められる IELTS の点数基準が低かったこと、またゴールドコーストにも住んでみたかったこともあり、一旦そちらに進学することにしました。ザ ホテル スクールの 1 年目に必須の科目はサザンクロス大学でも受けることができたので、必要以上の時間を要することなく最短で大学を卒業できたと思います。

サザン クロス大学はどんな大学ですか？

外国人の学生がとても多く、留学生へのサポートが手厚いと感じました。

また 1 年目には、先輩学生にメンターとして相談できる無料のシステムがありました。申し込むと学校側がメンターを選んでくれるのですが、私を担当してくださったメンターは、日本人の大学院生の女性の方でした。

オーストラリアでの生活で不安に感じることや授業で分からなかったこと、何でも相談できてとても心強かったことを覚えています。

ザ ホテル スクールの有給インターンシップとは？

進学する 1 番の理由だったインターンシップですが、当初、学校が提携しているホテルを勤務先として紹介してくれると思っていました。しかしそのようなことはなく、自力でインターン先を探すシステムでした。日本でアルバイトもしたことがなかったのでかなり大変でしたが、今思えばとてもいい経験でした。面接の練習や履歴書作成のサポートはとても手厚かったです。また、ホテルで実際に働いているマネージャーの方々にも定期的に授業に来ていただき、コネクションを作ったり、リアルな話を聞いたりする機会がたくさんありました。

印象的だった授業は？

・ Accommodation Operation

ホテルがどのように機能しているかを学びました。中でも印象に残っているトピックは high tech vs

high touch です。

『将来、五つ星ホテルのホテルマン、ホテルウーマンの仕事はAIに取られてしまうのか』という議論をクラスで行いました。私は、我々の仕事が無くなることはないと発表しました。五つ星ホテルで求められる“luxury”とは、綺麗な施設や充実した各部屋のアメニティーだけではなく、生身の人間であるスタッフの笑顔やおもてなしの心があってこそ、成り立つものだと考えるからです。

・ Sustainable Hotel Management

地球温暖化をはじめ、世界が抱える問題にホテル業界はどう向き合っていくべきかを学びました。最も印象に残っているのは、ラグジュアリーホテルはグリーン/エコフレンドリーになれるか、という授業です。ホテルには贅沢で特別なひとときを過ごすことを目的に来られるお客様も多く、ラグジュアリーホテルはエコとかけ離れていると思っていたのですが、世界には様々な工夫をしているホテルがあると知り、とても勉強になりました。

大学留学で、大変だったことは？

やはり課題ですね。

量も多く、英語で授業についていくだけでも精一杯だったので、課題をこなすのは毎回とても大変でした。

また、グループワークで、色々な国から集まったクラスメイトたちとコミュニケーションを取ることが多く、楽しいのですが、難しく感じることも多かったです。

オーストラリアの暮らしは？

私は高校の時も約1年間交換留学でオーストラリアに住んでいたのですが、自分の中では第2の故郷のような感じでした。

計4年間でシドニー、ゴールドコースト、メルボルンの三つの都市に住みました。気候も雰囲気も違った都市の生活を体験できたのは、とてもラッキーだったと思います。

ホームステイをし、シェアハウスでの生活も経験しました。英語力だけではなく人との関わり方や関係の築き方、異なる文化や考え方を受け入れる姿勢も学ぶことができました。

オーストラリアへの留学の特徴は？

留学経験はオーストラリアのみなので、他の国と比べることはできないのですが、個人的にオーストラリアはとってもオススメです。日本と同じで銃は持てないですし、心温かい方が多いです。留学生も多いので友達も作りやすいと思います。

もし将来チャンスがあれば、またオーストラリアに帰りたくたいです。

留学が今の仕事に生きていることを教えてください

国内のラグジュアリーホテルに就職し、オペレーター等を経て、ついに夢だったフロントに異動できました！

仕事に生かされたのは、まずなんと言っても英語力で、海外のお客様とお話できるのは楽しいです。

次はコミュニケーション力。今は英語を話せる人はたくさんいますが、ただ英語が話せても、お客様や同僚と深く関係を築けるわけではありません。多様な考え方もつ人々の中で生活したことで、相手の文化や意見を尊重できるようになりました。

これから海外の大学進学を検討する日本の高校生へメッセージ

大きな決断なので、不安要素もとても多いと思います。メリットがある一方で、デメリットもあるので、今のうちにたくさん悩んでください。私はたくさん悩んだ末に決断をしたので、オーストラリアで辛かったり寂しかったりした時も、「自分で選んだ道だ」と覚悟できました。